

別 表

項目	認証基準	要件		確認方法
		第3条第1項第1号 (5割以上削減区分)	第3条第1項第2号 (3割以上削減区分)	
化学肥料・化学合成農薬の削減 *1	化学肥料及び化学合成農薬の削減	慣行栽培から5割以上削減	慣行栽培から3割以上削減	第3条第2項の各号に定めるそれぞれの制度に基づき提出される栽培履歴及び現地調査により確認。 一部、申請時と実施状況報告時に追加資料の提出が必要*4
ネコナイト系農薬不使用	IRACコード4Aに分類される農薬を不使用	不使用	不使用	
トキの餌場環境整備	江の設置 a	a又はbで「取組面積」*2の10%以上整備、又はcで2%以上整備（cの取組はa,bの5倍でカウントするため）。 又は、a～cの組み合わせによる整備で面積要件をみたすもの*3	次の①～④のいずれかを実施  ① a又はbで「取組面積」*2の10%以上整備、又はcで2%以上整備（cの取組はa,bの5倍でカウントするため）。 又は、a～cの組み合わせによる整備で面積要件をみたすもの*3 ② dで「取組面積」の15%以上整備 ③ eで「取組面積」全ての畦畔で実施 ④ a～eの組み合わせによる整備で面積要件をみたすもの*3	申請内容及び現地調査により確認
	魚道の設置 b			
	水張水田の設置 c			
	冬期湛水 d	「取組面積」の15%以上整備		
	畦畔除草剤不使用 e	「取組面積」の全ての畦畔で実施		第3条第2項の各号に定めるそれぞれの制度に基づき提出される栽培履歴及び現地調査により確認。 一部、申請時と実施状況報告時に追加資料の提出が必要*4
	生き物調査 ※5	年1回以上	—	

\*1 化学肥料、化学合成農薬の削減割合は、石川県の水稲栽培基準（慣行栽培）からの削減割合

- \*2 「取組面積」とは、当該認証制度に取り組むほ場の水稲作付面積の合計  
「トキの餌場環境整備」の面積は、整備を行う各々のほ場 1 筆の水稲作付面積  
「水張水田」の面積は、水稲を作付けしたと仮定した場合の面積  
「畦畔除草剤不使用」の面積は、取組を実施する畦畔で囲まれたほ場 1 筆の作付面積
- \*3 複数の整備を合算して面積割合を算出する際は、江及び魚道を整備したほ場、並びに水張水田を行ったほ場の重複分は除く。  
算出方法については Q&A を参照。
- \*4 みどり認定 1 号活動及びエコ農業者認定並びにエコ農業推進団体認定を認定要件としたものは、実施状況報告に当該認証制度の対象とするほ場の栽培履歴を添付する。有機 JAS 認証及び特裁認証を当該制度の認証要件としたものは、個別対応とする。
- \*5 別添「トキめく能登の未来生きもの調査」を参照